

# 毛里田の風

## 2月号



**法人理念：**多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊重を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

**法人使命：**「志と誇りを高く！自分も周りもしあわせに！そして、円満へ。」

\* 仏教の『自利利他円満』の教えより。

社会福祉法人毛里田睦会 理事長 長谷川俊道

### 施設運営の方針

「安心してやすらぎのある生活」を送っていただけるよう施設サービスの充実に努めます。

**2月の行事予定** 今年の節分は2日です。

3日（水）



**節分**

- ・豆まき
- ・福茶



**2月のお誕生者様**

岡田様 63歳 齋藤様 87歳  
今井様 91歳



### マメ知識

①**今年の節分は2月2日…これは124年ぶり。**節分は「立春の前日」というルールがあるんです。

今年の立春は2月3日のため前日の2月2日が節分となったわけです。

②**今年の祝日はオリンピックの開催があるか無いかで変わります。**オリンピックが開催される場合は、7月の海の日が19日→22日、10月のスポーツの日が10月11日→7月23日、8月の山の日が11日→8日となり振替で9日が祝日へ変更されます。

カレンダーの祝日通りではありませんので、気を付けてください。



### 2025年問題 第3回 『社会保障費の増大』と『空き家・マンション問題』

年金、医療、介護などの「社会保障費の増大」も深刻な問題です。2025年には、社会保障費が「総額140兆円」を超える見通しとなっており、支える現役世代が減少する中で、高齢者が増加する。**現役世代への負担は、ますます重くなる**でしょう。年金においても受給金額の減少、支給年齢の引き上げなど、実質的に年金制度が破綻をむかえるとも言われています。

「空き家・マンション問題」では、東京オリンピックを終えて2025年には、「空き家」が増加することも懸念されています。国土交通省によれば、2017年時点で築50年のマンションは全国に5.5万戸。これが2025年には30万戸を超えると推計され、「空き家問題」の深刻度が増します。また、団塊の世代が75歳以上になる2025年頃から、本格的に相続件数が増え、空き家の売却も増えていくでしょう。

### ご家族様へ

面会のできない日々が続いております。できればご家族様の顔を見ることで元気や気力を補えれば良いのですが、新型コロナウイルス感染症がまだまだ猛威を振るっております。そこで、家族で撮った写真や、趣味活動をしている所の写真など、本人のお気に入りの写真を居室に飾り、毎日見ることができるようになりたいと考えております。一人ではなく、家族と一緒に写真や、友人との写真など、笑顔の写真をお持ちいただけるようご協力お願いいたします。郵送でも受け付けております。また、差し入れなどは、預らせていただきお渡しすることができます。ご様子などもお話しさせていただきますので、遠慮なく、ご連絡ください。お待ちしております。



介護でお困りのことがございましたら、どんなことでもお気軽にご相談ください。

〈ご案内〉月曜日から金曜日の平日9時～17時の間に事務所窓口へお声掛けください。お待ちしております。

連絡先：0276-56-9357

介護支援専門員：石原ひろみ

## ダイヤより



●手作り白玉入りおしるこ



■カレンダー製作



## 相手との距離感

人と関わる時には、その関係性を踏まえる必要があり、「距離感」が大切です。「距離感」には、物理的距離と心理的距離も含まれます。程よい距離感は、日々の暮らしの中の出来事や感情などによって変化します。基本となるのは、相手を気にかける姿勢です。人の感情は常に動いています。心地いい関係を築けるケアを、職員一人ひとりが実践して参ります。

介護福祉士：亀井昌美



## スペードより

介護福祉士：石原麻美



夕食後ホールで談笑♪



おしるこ作りで白玉を作りました🍡



来月の節分行事の道具製作やカレンダー作りを手伝っていただきました🙏

必要以上の介助で、使える機能が使えなくなってしまうことの無いよう一人ひとり今できることを大切に、楽しみながら残存機能を活かして頂けるようさまざまな活動をしています。



職員による新年のご祈祷🙏

☆感染対策のため現在は、毎月の行事は各ユニットにて短時間でを行っています。

## クローバーより

ユニットリーダー：森田和仁



音楽に合わせリハビリ体操



みんなで脳トレ問題に挑戦



手作りで白玉を丸く整え、仲良くおしるこを召し上がりました



誕生日を迎えられたショートステイの入居者様



ホール内にて歩行訓練



床の掃除や洗濯ものをたたんで下さる入居者様



新型コロナウイルスの影響により外出機会や「ひと」とのふれあいが減少している入居者様へは、要介護リスクの増大防止・活力維持のため適度な運動や作業を意欲的に取り入れ、ストレスゼロの生活を目指しています。

## 看護より

担当：看護師：小林

『厚生労働省は毎年、9月初旬（年によって8月末の数日を含む）から翌年5月末までの間、1週間ごとにインフルエンザの発生状況を取りまとめている。これによると、2020/21年シーズンの8月31日から1月10日までの19週間累積の患者数は、全国でわずかに664人だった。同期間における過去5年間の平均患者数総数は約35.6万人で2020/21年シーズンの患者数は0.2%にも満たないことになる。これから患者数が急増する可能性が残されているが、現在までは際立って少ないのが事実。昨春から続く新型コロナウイルス感染対策が、インフルエンザの予防につながっていると考えられている。』という記事を見つけました。今後も気を引き締め、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行ってまいります。

## 調理より

担当：管理栄養士：前原紀子



1月はおせち料理、七草粥、鏡開きのおしるこの行事食をさせて頂きました。写真は元旦昼食の献立です。お雑煮の餅は柔らかく利用者の方々にも食べやすい物を提供しました。煮しめはやつがしらを使用しホクホクとしていて味よく仕上げる事が出来ました。特養毛里田では里芋等芋類も農薬や化学肥料を使用していない生野菜を使用している為安全で煮あがり柔らかくねっとりとした食感が味わえ、利用者の皆様にも好評で残菜もないです。2月は恵方巻とにぎり寿司を予定しております。